

1. 件名：「三菱重工業（株）特定兼用キャスクの型式指定申請に関するヒアリング【12】」
2. 日時：令和5年2月28日 13時45分～15時30分
3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室
4. 出席者（※・・TV会議システムによる出席）  
原子力規制庁：  
（新基準適合性審査チーム）  
戸ヶ崎安全規制調整官、松野上席安全審査官、櫻井安全審査官  
  
三菱重工業株式会社：  
原子力セグメント 機器設計部 プラント機器設計課 主席プロジェクト統括  
他3名※
5. 自動文字起こし結果  
別紙のとおり  
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
6. その他  
提出資料：  
資料1-1 発電用原子炉施設に係る型式設計特定機器の型式指定申請 規則への適合性について  
資料1-2 補足説明資料 蓋部が金属部へ衝突しない設置方法における安全機能維持に関する説明資料  
資料1-3 補足説明資料 26-2 26条 燃料取扱設備及び燃料貯蔵設備 遮蔽機能に関する説明資料  
資料1-4 発電用原子炉施設に係る型式設計特定機器の型式指定申請 コメント管理票

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	規制庁松野です。
0:00:03	では、今から三菱重工業株の型式指定申請のヒアリングを始めたいと思います。
0:00:12	では資料に沿って説明をお願いいたします。
0:00:19	通信制高校の齋藤です。
0:00:22	お手元の資料ですね 1-1 の概要説明資料等 1-2 の補足説明でございます。こちら二つ使ってご説明をさせていただきます。
0:00:36	資料 1-1 のですね、4 ページを開けていただけますでしょうか。
0:00:42	10 月、2 月 16 日の審査会合での指摘事項を、その回答を、のページに記載しております。
0:00:53	このうち、徴用緩衝体に関わる
0:00:57	見込みでは 7 番になっておりまして、
0:01:00	二つございまして児童館招待客接続部の質問申請書の引き継ぎ条件、これについて申請書上明確にすること。
0:01:10	もう一つ、自動感謝の必要な緩衝性能と想定事象との関係考え方について補足説明資料の説明。
0:01:17	記載することとございまして、
0:01:20	右側にコメント回答をさせていただいてまして一つ目の
0:01:25	引き継ぎに係る部分については、
0:01:27	前回の審査会以降でも、
0:01:31	多少議論させていただきましたけれども、
0:01:34	梶内に加えまして、
0:01:37	荷重の作用範囲を、申請書の方もイメージするように、
0:01:41	いたします。
0:01:43	それからもう一つの回答ですけれども想定事象においては、
0:01:50	ちょうど緩衝体、
0:01:52	定例では主体から、
0:01:55	特定兼用キャスクに荷重がかかるということでその会場引き継ぐ形になっておりますけれども、
0:02:01	実際、想定される事象においてはですね、ちょうど話題であったリトラニオン、ところが、
0:02:11	おりますけれども、
0:02:14	これらの想定事象においては、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:16	これらの典型例のエネルギー吸収を無視するような形にしております、
0:02:23	保守的にキャスクの評価を行っております。
0:02:29	この設置方法における町道課題のうち目的であったり、
0:02:33	他に、
0:02:35	地震津波、
0:02:38	これですね評価してる、構造強度評価上の位置付けについては、説明資料の方に、
0:02:44	書いておりますんで、ちょっと後で少し、
0:02:47	ご説明します。
0:02:51	この資料の、
0:02:53	ここ、
0:02:54	した箇所というのをですね。
0:02:56	この指摘事項No. 3 が前回審査会合で回答した資料。
0:03:02	何万円なんですけども、そこに上書きするような形で、
0:03:06	難波なのか、何らかのですね、引き継ぎ事項ホームを設計しております。
0:03:13	5 ページ。
0:03:15	見ていただきたいんですけども、
0:03:19	宮下箇所がですね、この右下の表ですけども、
0:03:24	型式指定申請での具体的な勧奨専門として引き継ぐ。
0:03:29	想定事象として
0:03:31	列がございまして、そちらの荷重条件はの表の右列になります。
0:03:37	そして注記のところに記載を少し入れておるんですけども、
0:03:42	この数値が不適なキャスポンと。
0:03:47	一つ目の文章があってその二つ目にもですね、表中の荷重は、10 ページに示すか 13 範囲と同じ、またはより広い範囲に作用するものとする
0:03:57	ということで、
0:03:58	10 ページでいただくと思うんですけども、
0:04:08	想定事象から代表事象という形で逃げる過渡事故故障というふうになってますけども、
0:04:14	上の図と下の部分の中にですね、
0:04:17	荷重が作用する範囲。
0:04:20	数字で記載の方さしていただいています。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:27	営推水平ロッカーにつきましては上部側とですね下部側に、
0:04:31	範囲として示す数字を記載を、
0:04:36	追加をしてございます。
0:04:40	それから自己交渉頭数ですけれども、
0:04:43	一部ちょっと訂正がございまして、
0:04:48	交渉というのですね、城側にしようとする場合ですが、以前の審査会合資料ではですね、ちょっとこのような会社の範囲を具体的に示すような、
0:04:59	目的でちょっと作ってなかったというのもあってですね、概念的にこの部分にかかりますよっていうので、
0:05:05	出たものもありまして、矢印の範囲が少し変わってございます。
0:05:11	以前はですね、左側の
0:05:14	四角で囲ってる図なんですけども、ちょうど 30、保全にあたって、荷重が入ってるような形になってましたけども、正しく書くと
0:05:26	オオハシの部分だけにですね、
0:05:28	荷重がかかっているという条件で、
0:05:31	構造強度評価をしておりますので、
0:05:34	少し訂正をさせていただいてございます。
0:05:39	右側の税務署の方は以降、
0:05:42	ございませんで、
0:05:45	先ほどの底面のところですね、今回上で評価してますんで、
0:05:49	この形になってございまして、ここのこの図をですねセットにしまして、
0:05:57	入所者が引き継ぐと。
0:06:00	いう形で考えております。
0:06:04	この 10 ページの範囲、
0:06:07	ですけども、
0:06:09	そのほど食うとして 11 ページ。
0:06:12	飲んでいただきたいと思いますが、
0:06:16	2 ページがですねちょっと反対の設計で、
0:06:21	なんですけども、
0:06:24	これを装着した状態と照らし合わせながら見ていただければと思いますが、
0:06:31	山賀とですね、下部側に受け付け、緩衝体、
0:06:35	そうですね。
0:06:36	ちょうど本体と接種する部分、荷重が入ってくる部分が、
0:06:42	対応しております、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:45	水平落下で示した赤色の
0:06:48	部分につきましては、
0:06:51	緩衝体の、
0:06:52	ちょっとはまり込みため込み
0:06:54	部分の、
0:06:56	大幅に対応。
0:06:58	思います。
0:07:00	城実行校長ともですね、この青井百瀬の
0:07:06	の部分ですけども、
0:07:07	これもですね、
0:07:10	事故後衝突用の緩衝材。
0:07:13	のですね、設置位置に対応するものでして、
0:07:16	今 10 ページに書いてる範囲っていうのは、実際のものの大きさに比べれば、狭目になっているというふうに、
0:07:26	考えておりました、
0:07:28	この範囲で受けるという
0:07:32	ことにしております。
0:07:34	アガワも同じでございまして、過去、
0:07:38	浜田形で対応して、
0:07:40	ます。
0:07:46	この範囲よりもですね迫る逃げるということは、
0:07:51	谷津さんとか鴛海、
0:07:53	強化する方向になっていくと。
0:07:56	いうことになります。
0:08:00	続いて 12 ページを見ていただきたいと思いますが、
0:08:07	こちらも補足的に追加をさせていただきましたけれども、
0:08:11	町施設でですね想定される想定でしょ。
0:08:15	衛藤間中、或いは所得があるということで、
0:08:21	我々のですね想定範囲ではありますが、
0:08:25	想定される。
0:08:28	辞書に対して、
0:08:30	その落下衝突の対象となる周辺施設等について、
0:08:34	整理をしたものでございます。
0:08:38	左の列にですね想定で証拠、
0:08:42	タケナカと、あと、警報工事工法の衝突、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
 発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:46	があつてですね、それその右側に起因事象として、
0:08:50	秋田の地震、
0:08:52	竜巻がございます。
0:08:55	その右の列ですけれども、何か一つの対象となる周辺施設等ということで記載のものが、
0:09:02	であると想定しております。
0:09:06	備考欄にいろいろ書いてますけれども、
0:09:10	我々の想定としてはですね、横置き貯蔵で緩衝体をつけたちよどってのは国内ではないんですけども、
0:09:21	彼がつけなくて予告スルーで何か、
0:09:25	形になりまして、
0:09:27	東電さんのですね、
0:09:29	なんかも参考にしながらですね、見ますと、
0:09:33	基本的には象徴するものであったり、
0:09:38	ディスクが落下する面ってところはデータ画面。
0:09:42	た場所になってくるのかなと思いますけれども、
0:09:45	そういった、
0:09:48	審査会合で、モスクになった、極セイキ局所的に荷重が入ってくるような器物。
0:09:56	があるのかということに関しては完全にはないと言い切れなと思いますけれども、
0:10:02	大分、
0:10:04	桃はエタン
0:10:07	であると考えてます。
0:10:11	がっかりするものとしては
0:10:14	その施設であったりですね、
0:10:18	多分、うちの
0:10:20	ところに入ってますけれども、これなんかの、
0:10:23	それなんかも想定されますが、その辺も現実的にはないのかなということでは、した上でですね、減ったんのが、
0:10:35	今後の審査では、
0:10:37	主なものになるのかなと考えてます。
0:10:42	最後に、竜巻なんかも入れてますけれども、
0:10:46	竜巻に関しましては、
0:10:49	竜巻の評価の中で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:51	面積飛来物の
0:10:56	兵庫ですね申請書に含めてまして。
0:10:58	それらの飛来物がひょっとしても、
0:11:02	そういったなしですね。
0:11:04	アンケートのベースできるというふうに、
0:11:07	してまして。
0:11:10	かなりの範囲をカバーしてると思っていますので、
0:11:14	緩衝材なしでも、それに包絡されるようなものであれば、
0:11:18	問題ないと言っていいと思っておりますけれども、
0:11:21	それを上回るようなものがあったりですね。
0:11:25	しますと、この緩衝材をつけて逃げ吸収してっていう形には、
0:11:31	なると思いますが、
0:11:33	この荷重範囲ですね、これ。
0:11:36	もう、
0:11:37	狭い範囲に当たるとか、エネルギーが高いものであったりとかっていうところを総合的に見まして、その場合は、
0:11:45	構造の審査で、
0:11:47	ご確認いただくという形になろうかなと。
0:11:50	と思います。
0:11:53	津波については書いてませんが十時で書いているとですね、もう最大のものが当たっても、貸し手なしで問題なしっていうふうに、
0:12:02	なってますので、そちらについては書いております。
0:12:10	資料 1-1 の説明は、
0:12:13	以上でして 1-2 の方にもう少し、
0:12:17	補足。
0:12:18	追加をさせていただいてます。
0:12:22	追加した。
0:12:24	部分がですね。
0:12:26	別紙の 4 と別紙の 5 の、
0:12:30	ところになりますけども、
0:12:33	まず別紙の 5 の、
0:12:35	別紙の方ですね、別紙の 5 が、
0:12:37	星野。
0:12:40	当時、118 ページ、110、
0:12:43	2 ページでございまして、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:50	せっかくコメント7番の、
0:12:52	二つ目に、
0:12:54	ちょっと目の、
0:12:55	への回答になるところでして、
0:12:58	218 ページですけども、概要のところになりますと、
0:13:04	ちょうど官舎装着時において想定情報が、
0:13:09	ここのですね、安全のタイプの担保と部材の強度評価における町道ハ ライトウの条件設定に関する考え方っていうの、
0:13:17	書いたものでございます。
0:13:21	2 ポツのところ
0:13:24	設置目的側の設置目的と、
0:13:27	アトム新人における
0:13:29	強度評価の、
0:13:31	考え方等を書いてます。
0:13:35	江藤ちょうど課長たらいいもそうですし、いやしくも円筒形状ですので、
0:13:41	このまま。
0:13:42	ここで、ちょうど課題なしでよくと。
0:13:45	いうところがあってしまうということになりますので、
0:13:49	通常貯蔵において、転倒しないようにちょっと係設置すると。
0:13:53	いうことがまず、
0:13:57	またのところですけども、
0:13:59	自動話題というのは、先生は、話題の支配の部材、半導体の部隊です けれども、
0:14:06	地震時において構造強度が維持されるかどうかというのは、まだわかり ませんが、維持されるということを前提としまして、
0:14:15	審議において、貯蔵架台から、
0:14:19	キャッシュが変動すると。
0:14:21	いうことを防止するために、プランで固定するという設計にしています。
0:14:28	でそのこと、コンプライアンス健全性については、耐震性の説明で、
0:14:33	評価をしております、
0:14:36	健全性が維持されるということを確認して、
0:14:42	なおのところですけども、
0:14:44	背弧の先生方においてはですねちょうど話題が基礎等に、
0:14:49	予定はされてませんが、地震時の強度評価においては、1 ページ にお客と、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:57	ちょうど話題がですね、人力で攻めていくと。
0:15:01	いうことになりますと、
0:15:04	そのエネルギーが、
0:15:06	損失されますので、
0:15:08	そこをもしまして、
0:15:10	児童が大学そう固定される形として、
0:15:14	地震力をすべて特定兼用キャスクに使用するような形で評価を行っている。
0:15:21	二つ評価はしておりますけども、トラニオン
0:15:24	以外、
0:15:25	2のものについては、
0:15:28	本当ライン外の安全機能を担保するぐらい。
0:15:30	については、こちら辺を、
0:15:33	のですねDK書を無視して、地震力による監視をすべて満たす側にかけるような形にしています。
0:15:41	デイトナの評価では、その逆でして、キャストイングエディションして、
0:15:51	ここでございます。
0:15:54	3ポツですけれども、
0:15:56	落下所得評価における貯蔵場に位置付け、
0:16:00	ということで、
0:16:01	ここで言った通りですね、物件の安全機能、
0:16:05	担保するために、
0:16:07	ちょうど私の偏見メディエーション無視する形としてございます。
0:16:16	この方については以上でございます、
0:16:21	あともう一つですね。
0:16:23	別紙4も、
0:16:25	最後に別添1というの、115ページ。
0:16:30	に追加をしております。
0:16:32	うん。
0:16:35	本日のヒアリングに先立って事前にちょっとご連絡をいただいてまして、
0:16:41	緩衝体の健全性に関わる
0:16:45	ところも、
0:16:47	できますか。
0:16:48	成立性の名簿付けみたいなのところも、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:51	含めておいた方がいいのかなと思ひまして、追加をしたものでござい ます。
0:16:58	215 ページに
0:17:01	藤堂課長田井。
0:17:03	新野ですね、我々、これまでご説明してきている。
0:17:08	緩衝材に金属製のものをを用いた物ですね、場合における経年変化の
0:17:15	真崎の例ということで、
0:17:17	説明を記載してます。
0:17:21	115 ページの 3 段落目の辺りになりますけれども、
0:17:27	コダマ、
0:17:29	本体と同様にですね。
0:17:32	県営劣化の委員会を、
0:17:35	不足クリーブ割れ等の、
0:17:40	部分とあと温度、
0:17:44	放射線影響、
0:17:46	について評価をしております、
0:17:49	現場結果、議題について、
0:17:52	民主党ですね、県に対して、
0:17:55	この変化の影響はなく、先月できると言ったところ、
0:18:00	しております。
0:18:03	天然化の影響ないということから安全評価における責任っていうところ は、
0:18:08	必要であるということで、
0:18:12	キャスク本体で、
0:18:14	評価している金属製金属材料、
0:18:16	の部分と同じような評価結果になると考えております。
0:18:23	116 ページに表を入れてまして、
0:18:29	北大のですね。
0:18:31	県下の
0:18:33	他について、
0:18:36	例ですけれども、入れてございます。
0:18:42	こちらの緩衝材として用いるですね、金属材料の
0:18:47	評価のところですね、から記載の通り、
0:18:52	わかりまして、
0:18:58	原発本体でもご説明したような、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:01	部分と同じような説明ができるので、問題ないという結論になろうかと考えております。
0:19:15	資料の説明。
0:19:19	以上でございます。
0:19:25	はい、規制庁松野です。
0:19:28	次の質問の方に移らせていただきますけども、
0:19:33	ちょっと私から何点か確認したいんですけど。
0:19:38	ちょっと今ほど説明があった、その経年変化。
0:19:44	説明で、
0:19:48	そっくりのこの、
0:19:50	15 ページ目。
0:19:54	一位、
0:19:55	内容を見ますと、
0:19:58	これあくまでも、
0:19:59	金属緩衝体の経年変化の例なんですけど、
0:20:06	木材の緩衝体の経年変化の例っていうのは、
0:20:11	何か文献等で調査した結果っていうのあるでしょうか。
0:20:20	はい。ミツイサイトウです。
0:20:23	過去型式証明の審査の中では、いろいろ文献の例なのかを、
0:20:31	ご説明させていただきましたけれども、
0:20:34	そのあと、
0:20:37	これは我々ではなくて、
0:20:41	オク電力さんの方がされてますけれども、
0:20:44	輸送の設計承認の中で、
0:20:49	木材補正の緩衝体を装着して、
0:20:53	メールを輸送に実施をするということで、あの辺の説明はされております。
0:20:59	何回かヒアリングの中でもご説明をさせていただきましたけれども、
0:21:05	データが十分ではないと。
0:21:10	腐食とか照射っていうのは問題がないっていうふうなお話されてるんですけどもねIIですね。
0:21:18	高温環境で使用し続けるということに対して、十分なデータがないというふうに判断がされてます。
0:21:28	決着点としてはですね、
0:21:32	比較的低い温度で使用されるというのが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:37	現実的には考えられて、
0:21:39	温度というのが、へんやん。40度から60度ぐらいの。
0:21:46	実績があると。
0:21:48	そんな実績で使用した問題っていうのは、特に懸念からいけばなかったというがあるので、
0:21:55	現時点木材を使用する上では、権藤本間範囲で使用するというような形で、
0:22:02	確認がなされて、
0:22:04	使用前に確認されて使うというところまでが、現時点での
0:22:10	委員会でのご判断をいただいている。
0:22:13	内容と考えてます。
0:22:16	逆にそれを上回る知見というのが今ないので、
0:22:20	その業界大ですね、知見の拡充をすると、というような状態になってますので、その動きの結果また新しい知見が出てくると。
0:22:31	なろうかと思ってますので、
0:22:33	我々としても今現時点では、そういういろんな意見はない。
0:22:38	ということで、もし書くのであればですね、そのような説明という
0:22:42	形になると思います。
0:22:45	以上です。
0:22:47	規制庁松野です。今の点は一応証明の審査の中でも一応、
0:22:54	説明されたのは内容ですけども、
0:22:58	非常に木材は、おっしゃる通り熱に対して結構懸念があって、
0:23:05	今の知見だとなかなか、
0:23:10	新しい知見もまだ出てきた。
0:23:14	今回のその補足説明資料は、結構、
0:23:17	勤続勸奨単位制っていう事細かく結構書かれてあって、
0:23:22	それに対して、結構、長期。
0:23:27	経年劣化の話も書いてるんですけども、
0:23:31	もし書くのであれば、金属、緩衝体に、
0:23:35	特化せずに、結構幅広くいくつかの緩衝体の例を幾つかの、
0:23:40	で示すべきかとも思うんですけども。
0:23:44	その点はいかがでしょうか。
0:23:56	三菱の斉藤です。
0:23:59	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:01	ただちょうど伴翔太を装着して、キャスクを設置するという事例は、今んところなくてですね。
0:24:11	審査の範囲、申請の範囲外でもあって、
0:24:17	我々としては、
0:24:20	金属製の緩衝材を用いることを、
0:24:24	収集として考えてまして、今、
0:24:27	旅館所帯の
0:24:29	長期健全性等、その緩衝性能というところで市で行っております。
0:24:35	もう実際、金属だけなのかというところですね木材を使う可能性もなくはないでしょうし、
0:24:46	他の材料も可能性としてはあるんでしょうけども、
0:24:50	ぐらいに近いような形になろうかなと思いますんで、
0:24:57	木材の緩衝体をですね、用いるバイオという形での評価を事例として、
0:25:03	追加することはできなくはないです。
0:25:06	で、
0:25:07	その内容というのは
0:25:11	江藤型式指定申請書の添付書類 13 にですね。
0:25:15	理想の緩衝体の仕様上の変化っていうのをまとめておりますんで、
0:25:22	それとほぼ同じ内容を書く形になろうかな。
0:25:26	それ以上のことは書けないんで、
0:25:28	そこが可能でございます。
0:25:31	以上です。
0:25:34	規制庁松野です。
0:25:38	今のこの説明だとあれですよ、経年変化の場合であれば、
0:25:43	金属緩衝体であれば、
0:25:46	長期健全性の経年変化の妥当性っていうかちょっとその点は説明できるけど、
0:25:53	木材では経年変化の観点から、今の知見では、ちょっと説明が難しいっていう、
0:25:58	理解でよろしいんですよ。
0:26:04	三菱の齋藤です。
0:26:06	木材に関しては 46 から 60 度で、
0:26:12	使用するということが前提になってますので、
0:26:15	そういう制限をつけて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:18	少なくともそういう制限をつける、或いは別のか、別の手段、その監視をするという。
0:26:26	考え方もある、あろうかと思えますけども、
0:26:29	今現時点では
0:26:31	普通に使うと思うとちょっと制限がいろいろかかってしまうという、
0:26:35	ことっていう認識したと思います。
0:26:37	はい。以上です。
0:26:39	規制庁マツオ、
0:26:41	やっぱり、
0:26:42	長期健全性で他何か確認したい点あれば、
0:26:53	規制庁サクライですけど、今の長期減税。
0:26:58	観点の中でも経年変化で令和示していただいている変な話腐食とか、
0:27:09	熱照射っていうのは本体と、
0:27:11	その代わり抜くと影響ない、安全機能評価にはいかないよってということなんですけど。
0:27:18	衛藤。
0:27:22	同法、緩衝体のそのものを、
0:27:27	がそういう物として例えば運用上、
0:27:32	方は、
0:27:34	の観点だと確かに事業者は後段の設工認でやりなさいよってことだと思うんですけど、
0:27:41	変な話製作して売る側のメーカーとして、例えばメンテナンスというか、交換。
0:27:49	とかっていうのを想定してるんですかこれ。
0:27:56	三菱の齋藤です。
0:27:59	金属材料を使った緩衝体に関しては、基本、緩衝材が主なものになりますけども、
0:28:09	60年間のですね、町道において、
0:28:14	緩衝性能が低下しないと。
0:28:20	評価をしておりますので、
0:28:24	物交換っていうのは、一応は、
0:28:27	ないと考えております。うん。ただそ、
0:28:31	そのちょうど施設の環境によりますけれども、
0:28:36	舗装とかですねそういう合成措置の部分でのメンテナンス。
0:28:41	は

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:43	必要になろうかとは思っておりますが、
0:28:46	すいません今今午後って音が入っちゃって、大事な、どの時ですか。すいません。
0:28:56	どのファイル。
0:29:00	等ですね
0:29:02	基本、基本的には使用環境で、その材料そのものが駄目になる使えなくなるということではなくて、緩衝材の実チハラ性の
0:29:13	を出すための健全性は、教育中期、長期健全性は問題ないと判断してましますけれども、防水処置をして使い使うっていうところを前提にしますので、
0:29:26	それはもうキャスクの本体と同じですけども、その辺の
0:29:30	メンテナンスのようなことはキャスク本体と同様に必要になろうかと思っております。
0:29:36	以上です。
0:29:39	基本交換をしないものなんだけど、どう、防錆処置とかそういうところ、
0:29:47	覆って
0:29:50	メンテナンスしつつ、そこら辺を、そういうメンテナンスだけではなくて交換は本体よりも、多分、緩衝体は楽だから、
0:30:01	そういう時 2、
0:30:02	交換することもあり得るってところなんですよええ。
0:30:10	それが三菱の交換はしないですよえ。交換はしなくても大丈夫だしなくても大丈夫。これさっき、
0:30:16	大崎のところ、他は一切ないらしいです。はあ。
0:30:22	ていう考え方なんですね。それを、変な話、
0:30:27	えっと後段に、引き継ぐってわけじゃないですか、1 例。
0:30:31	考えの 1 例っていうのをここに記載されるってことは可能なんですか。例えばですけど。
0:30:38	今回これで設計書、じゃない、型式して取りましたけど、とってこれを買った。
0:30:47	事業者が、じゃあ貯蔵用緩衝体についてって香田に落とされてるいろいろやりますよってなった時に荷重だけの、
0:30:57	これをクリアしたらOKなんですよってというのは、
0:31:00	テーマ、
0:31:02	設工認だったら登録後そのあとの、
0:31:06	進和検査とか、そこら辺に行ったと昨日、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:11	2度の程度、長期60年もちますよ。
0:31:17	ていなのさ、減らしここで指標みたいなのですよ。少し記載してもらった方がいいんじゃないのかなあ。
0:31:25	ていなのさあって1例っていうか今回の別添1みたいな感じですけど。
0:31:32	確かに対象外ではある戻ろう。
0:31:39	なんですけど、
0:32:54	規制庁マツノです。
0:32:57	先ほどの説明の中で木材を使う場合は経年変化の観点で、
0:33:05	制限を設けることがあるってことで40度から60度って言ってましたけど、
0:33:13	その温度って、
0:33:15	実現可能な温度なんですか。
0:33:22	三菱の斎藤です。
0:33:26	設計上ですね。
0:33:31	評価上、
0:33:33	木材の
0:33:35	温度ってというのは100度近くまで、
0:33:39	上がるという評価になってます。これいろんな保守性を考えたり、収納する使用済燃料の一番厳しいものを入れたいという、
0:33:49	岩松っていうわけなんですけども、
0:33:53	実際に現実的に、
0:33:55	入ると、そこまでいかないわけで、
0:34:00	46条ってというのは、そこそ現実的な
0:34:06	思いますし、それが、その温度ってというのは、先ほど言いましたけども、1関井。
0:34:13	もうな中で、
0:34:17	そのような温度で運用された実績があるっていうのが全然、スマホって
0:34:23	決まってるようなので、
0:34:26	ある程度実際に近い。
0:34:30	こちら判断しております。
0:34:33	以上です。
0:34:54	規制規制庁の戸川トガサキですけど、
0:34:58	ちょうど私の理解では、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:02	初動間状態を具体的に断どういうものにするかっていうのは、設置者の方で決めると思うんですけど、
0:35:11	素行へのキャスク側の背制限で何かこういう
0:35:18	貯蔵用緩衝体をつけてくださいっていうようなものがあるのであればそれはちゃんと条件として、
0:35:24	申請書に変えて、設置者側に引き継ぐ必要があると思うんですけど。
0:35:32	先ほどの仲田から衝撃とかについては、ちゃんと今日、キャスクとの境界部分の、
0:35:43	条件とか、を明確にしてもらって、
0:35:47	引き継ぐ必要があると思うんですけど。
0:35:49	熱、熱についての上条件というのは、
0:35:56	何か引き継ぐ必要があるのかっていうのちょっと確認したかったんですけど。
0:36:01	だから
0:36:03	別にその設置場所の熱、熱つうに耐えられる。
0:36:11	中長期的に耐えられる緩衝体。
0:36:16	であれば、
0:36:17	あとは設置者が決めればいいと思うんですけど、
0:36:21	そういう何か、長期使うための何か条件設定ってのは何かあるって考えていいんですか。
0:36:31	三菱サイトウですけれども。
0:36:35	先ほどの資料 1-2 のですね、
0:36:39	右下の 116 ページ。
0:36:42	ですけれども、ここに緩衝材の熱の、
0:36:48	が
0:36:52	設計条件と、評価のところの数字を見ていただければと思いますけども使用環境の者、
0:36:59	あくどいカーでしょうということで、
0:37:03	それに対して右側に、
0:37:06	60 年間、
0:37:10	のができる。
0:37:13	判断できる温度での会議ですけれども、かなりお客に対して、
0:37:19	そういうあるような、
0:37:20	評価結果となっております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:24	ですので、かなりその点というのが金属材料の場合はシビアではなくて、かなりがあると。
0:37:32	判断をしております。
0:37:38	ですのでこれがかなりぎりぎりのところで使ってるようなものではないので、その熱に対する問題がないというふうに判断してますので、それを取り上げて、
0:37:48	特段書く必要はないのかなとは思ってまして、
0:37:52	緩衝体っていうのは
0:37:55	ご説明してきている通り、緩衝性能っていうところが、引き継ぎ事項になってまして。
0:38:01	それに与える経年変化の影響っていうのがあるんだったらそれをしっかり確認するっていうのが、
0:38:07	長期健全性の中での緩衝体の、
0:38:11	すべきポイントで、
0:38:14	それは型式し、
0:38:16	指定ではできなくて、後段で見るわけなんですけども、
0:38:20	唯一そういった部分を貴族必要があるのかどうかっていうところを含めるのであれば、経年変化を考慮した上で、
0:38:32	ちょっと緩衝性能がコレコレなるようになっていう、1本入れるぐらいかなというふうには、
0:38:39	私は考えてまして。
0:38:43	それぐらいかなと。
0:38:44	ただ型式証明の中ではその一部はなくてですね、干渉線として、
0:38:51	協調大企業、
0:38:53	満足するような感想先方っていうふうに、
0:38:56	ずれてますので、
0:38:58	ちょっとこの整合がつかなくなるので、この長期健全性に係る
0:39:04	コア。
0:39:06	そこは調整かなというふうに、
0:39:09	思っているところで、
0:39:11	ます。
0:39:13	以上です。
0:39:14	うんだからちょっと、照明にこういう基準がなくて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:20	各種指定の方にあるっていうのは、やっぱりその指定になるとその設計が所々詳細化されるから、そこのその境界条件とかで、ちゃんと引き継ぐ必要が
0:39:32	ある情報はちゃんと設定して、
0:39:35	施設側に日司なければいけないという、
0:39:39	もうちょっとあるんじゃないかなと思うんですけどですからその緩衝性能の衝撃だけじゃなくて、こういう。
0:39:46	長期健全性についても、例えば、さっきおっしゃってた、こういうこのキャスクはこういう最高のこういう温度になりますとか言った時に、
0:39:56	それに耐えられる緩衝体をつけてくださいっていうので、例えば今想定されてる金属のやつであれば、こんな余裕があるから、だからいちいち別に細かい、
0:40:09	温度の条件設定っていうのは、
0:40:12	施設が引き継ぐ必要はないと思うんですけど、ただ、僕も、
0:40:18	木材みたいに、もう、例えばもう、
0:40:22	60° までしか使えませんと言うのであれば、そうしたら、もうこのキャスクはもうこの表面 100 度になってしまうので、
0:40:31	そのままじゃ使えませんよとか、
0:40:34	そういう、
0:40:36	なんで 100 度にも耐えるような、木材の家状態を開発して使ってくださいとかですね。
0:40:43	なんかそそん時はちゃんと具体的な引き継ぎ事項になってくるんじゃないかなとも思うんですけど。
0:40:50	そこら辺は今まであんまり考えてなかったってことなんですかね。
0:40:58	三菱斉藤です。
0:41:00	庁用緩衝体の日常される緩衝材ですね、その材質というのはいろいろ、
0:41:07	選択肢としてはあるわけですし、
0:41:10	民族の場合だと、問題はないでしょうと。
0:41:14	輸送で実績がある木材だと。すいません先ほど 60 度といいますか 40 度から 7 乗で 70 度の
0:41:22	すいません間違いでした。
0:41:24	75D、40 から何ぼまでの範囲に抑えましょうと。
0:41:29	他にはどうなのかっていうことになってくると思うんですよね。
0:41:35	そう。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:36	範囲を限定して書くことはできるのかもしれませんが、
0:41:41	すべて書く、綺麗だとか、そういうのを包絡したような形で書く。
0:41:46	定量的なものだとそういうふうに、
0:41:48	徹底してしまうなんていうところがあるかと思う。
0:41:53	以上です。すべては多分各日ことはできなくて、上が売るメーカーとして、今、
0:42:04	自分たちがこんな考えられ得る金属だったり木製ちょっともうくせだとおっしゃった制限ありますけどっていう、
0:42:13	感じで、補足、殺害申請書だとあれなんですけど、補足程度で、話工認におけるその貯蔵用緩衝体の性、
0:42:24	経年劣化への何か指標じゃないですけど、こういう、
0:42:29	レベルのものであればいいんじゃないですかって言わず、そこに別にこうがっちり当てはまるわけじゃなくてもいいし、おそらくか、ほぼ、
0:42:40	事業者、電気事業者とか、全く別のものをやってきてもうその時はその時で、
0:42:45	審査すればいいだけなので、
0:42:47	だったら何で書かせるんだよって思うかもしれないですけど、やはりある程度の例がないと、
0:42:53	後段でその
0:42:55	おそらく三菱から2個の型式を買う方々は、常用緩衝体を三菱に発注するとか何かいろいろあると思うんですけど、
0:43:08	ある程度の令和示してもらっていいんじゃないのかなと思いますけど、すべてではないっていうのを、
0:43:15	前提とした上で、
0:43:20	ですねちょっと、
0:43:22	絶対書かなきゃいけない所情報というのは、必ず引き継がなきゃいけない情報ですよ。だから、
0:43:31	さっきの掲げ荷重の条件とかそういうのを引きずらないといけないんですけど、
0:43:37	そういういろんなオプションがあるものについては、だからこの実現可能性、
0:43:43	法士説明してもらって、ちゃんとこういう
0:43:49	緩衝体をつければ、長期間兼用キャスクとして使えますっていうですね。
0:43:57	そそれを

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:00	あれですね、
0:44:02	説明して、申請書で説明していただいて、引き継ぎ条件にはだから信頼 っていうのはあるかもしれないすよね
0:44:11	それからもう引き継ぎ条件としてもだからすごい詳細な情報じゃなくて、 定性的な、こういう化状態をつけてくださいという。
0:44:22	やり方もあるんじゃないかと思うんですけどただんな一応、この緩衝体 をつけてちょ長期間、多くあれですね貯蔵するっていう、
0:44:32	指定になるんで、ちゃんと緩衝体がつけられるっていう、
0:44:37	そういう情報は何か言ってもらわないと、こういうキャスクをですね、
0:44:44	もう他の事業者が使ってもいいっていう所してとかっていうには、
0:44:51	なかなかつながんないと思うんですね。
0:44:55	ちょっとそこちょっと本詳細なだから、設計条件として引き続く、
0:44:59	ものじゃないっていうんだったらそれをちゃんと説明してもらえばいいと 思うんで、ただ、こういう桑野家状態が今、世の中にあるし、こういうもの をつければ大丈夫だし、
0:45:11	こういうものじゃなくてもこういうことをやれば、使えますっていうですね、 そういう説明は要るんじゃないかなと思います。
0:45:28	三菱の斎藤ですけれども、
0:45:33	はい今おっしゃってる。
0:45:36	こそ
0:45:38	あります。
0:45:40	いう。
0:45:42	上で申請書に、何をどう書くかっていうのはちょっと具体的なイメージ が、
0:45:47	ありませんでして、
0:45:51	そうですね。
0:45:58	引き継ぎ事項。
0:46:01	そして、
0:46:02	採用しようないというのが、
0:46:19	資料 1-2 の、
0:46:34	これ、45 ページ、47 ページです。
0:46:42	井口さん 47 ページですけども、
0:46:46	申請書の本文に、
0:46:51	感じ。
0:46:52	定検やキャスクを使用目的を使用することができる。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:56	範囲または条件っていうのがあってこの
0:47:00	条件の方に、
0:47:02	ですね、今、記載があるものにちょっと追記をする形で考えてまして、
0:47:11	ある部分というのが黒字の内容なんですけれども、
0:47:14	教科書体の装着により、特定兼用キャスク蓋部が金属部へ衝突しない方法で設置することについて、
0:47:21	原動機高規格に規定されるという形に対して所用緩衝体は特定健康リスクの安全機能を担保する部材が許容基準を満足するために必要な緩衝性能を有する。
0:47:33	ここ、ここまでが型式証明で書かれてあって、型式指定でも同じこと書いてまして。
0:47:39	その下に荷重の話を、
0:47:43	追加するっていう形で今、
0:47:46	これに加えては、会場の範囲を、
0:47:49	難しいっていう形ですね。
0:47:54	もう経年変化の影響に、
0:47:57	つきましては、
0:48:00	今回こんな直で書いている赤い字で書いている部分のですね、
0:48:07	下表に示す。
0:48:09	ちょうど施設の、
0:48:10	想定日書において、
0:48:13	今、その経年変化の話を書いてないんですけどもこの後ぐらいにですね、
0:48:18	緩衝材の経年変化を考慮した
0:48:21	上でっていう一言を。
0:48:25	追加すれば、
0:48:27	ここの赤字のところに書くかですねその上の、
0:48:35	助教授に対しての後ぐらいにですね、
0:48:39	指摘事項経年変化を考慮した上で、カジタの経年変化を考慮した上でというような、
0:48:45	一言を入れるぐらいであれば、
0:48:50	かけると。
0:48:52	ちょっとそれ以外の
0:48:55	ちょっと例示というか、こういう場合においてとかっていう、
0:48:59	ものがですねこの中にこう含めに非常に含めづらい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:04	という状態です。
0:49:07	補足説明資料の中で、
0:49:09	こういう
0:49:10	例示っていうのがいろいろあって、こういう場合だったらこういうことしないといけないよとか、検査しないといけないよとかっていうのはいろいろ、
0:49:17	ここの議論あります。
0:49:22	ですんで補足説明資料にいろいろ過去私いただくかなと思うんですが、
0:49:28	伊勢さんにはちょっと、
0:49:30	今のところ、
0:49:31	そのぐらいかなと思って。
0:49:35	規制庁以上です。
0:49:38	はい。
0:49:39	今は齊藤さん。
0:49:45	一通り、
0:49:47	やっぱり長期健全性の、
0:49:50	9は、
0:49:53	なんかやっぱり審査の範囲外ですのでやっぱりこの指定の段階では細かく、
0:49:59	きっちり軸は書けないと思いますので、もしその本文で書くとすれば、一言。
0:50:07	今おっしゃった内容。
0:50:10	課金
0:50:12	ただ、
0:50:13	ちょっと補足説明資料では、幾つか考えられる事例。
0:50:20	あと今時点での最新の知見がこの程度までっていうところはある程度、ちょっと補足のほうに、
0:50:29	ちょっと記載をちょっと追記。
0:50:32	した方がいいのかなとは、
0:50:34	思いますけども、ただ、すべては多分書ききれないと思いますので、
0:50:39	今の現時点で、
0:50:42	書ける範囲でやっぱり書いてもらう必要があるのかなと思いますけども、いかがでしょうか。
0:50:53	税理士の齋藤です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:55	はい。申請書の本文にはちょっと一言を入れる。
0:51:00	ことでちょっと検討したいと思います。
0:51:05	あと補足説明資料の中にす。
0:51:09	材料、
0:51:11	というような工法は今後というか、例でいい。
0:51:15	として、
0:51:17	金属、
0:51:19	と。
0:51:21	輸送の実績のある木材の実施例を、
0:51:26	挙げさせていただいて、
0:51:29	それぞれの場合で
0:51:33	60年、設計貯蔵期間60年間使い、
0:51:36	一生ができるのかという観点で、
0:51:39	もう、
0:51:40	企画というか、その
0:51:43	まとめをして、
0:51:44	それぞれの場合、こういった条件が、
0:51:49	条件下で使用しないといけないのかとか、
0:51:51	当使用施設に当たってということを前提にして、
0:51:57	話をするのかというところを、わかるような形で、
0:52:01	お示し、
0:52:03	と思います。
0:52:39	三菱のサイトウですけれども、
0:52:42	先ほど60年間エスカー。
0:52:45	ということが前提にはなっていないものの、
0:52:49	内容的に使い続けるのが難しい場合とかになる等、
0:52:57	10年20年で交換するとかですねそういった
0:53:00	運用も考えられますんで、
0:53:05	そういうのも、
0:53:09	合わせて、
0:53:10	書くような形で、
0:53:13	おそらく交換する。
0:53:16	ことにあまり、
0:53:18	我々も特に抵抗があるわけではないんですが、そういう使い方もあるのかなと思いますんで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:25	はい、木下樋渡ます。
0:53:28	はい。でね交換。
0:53:32	はい。周りのもの。
0:53:35	交換なんですか、可能なら。
0:53:38	新しいものに変えてった方が、
0:53:40	農家でかかりますけどいいんじゃないですかね。
0:53:43	はい。そこら辺の記載をお任せします。ちょっとマツオという話したらば、
0:53:49	どうですか。
0:53:51	何て言うんですかね、さっきちょっと今サイトウ探し、ちょっとチェックの観点というか、
0:53:57	閉じ込め機能の関係だと3ヶ月に一遍とかでした。
0:54:01	何かありますよね。そういうのの観点だと、
0:54:06	いちいちこうなんていうんですか、運転員さんでいいんじゃないか、発電所の人とかのチェックを何ヶ月1ページだとかそういうところまでは参らないんですよねきっと60年もつよっていう設定だと。
0:54:19	そうですよ。
0:54:20	本体ですねキャスクと同じですよ。
0:54:24	規制庁松野です。ちなみにちょっと1点確認なんですけども、もしこれが発電所内の貯蔵建屋内に横置の緩衝体次が、
0:54:37	保管貯蔵されてる状態で、
0:54:40	その緩衝体の保守、メンテナンスで、
0:54:44	外観検査であればもう錆とか、その腐食とかの点検です。
0:54:51	それがその交換の目安とか例えば20年30年で交換する必要が、
0:54:58	あると判断する基準っていうのは、
0:55:02	その腐食の劣化速度と短正体が持つそのエネルギー吸収性能との関係で、何か評価式みたいなのがあって、
0:55:13	それを上回れば交換の目安っていう、そういう何か具体的な、
0:55:18	指標とかそういうのは何か考えられるんでしょうか。
0:55:21	何か以前もそんなこれ証明のときにも何か話して感じがしますけども。
0:55:27	何か今現地って何か考えられますか。
0:55:34	三菱の斉藤です。型式証明のときに、
0:55:41	これ、文献の1例扱いですけども、
0:55:45	木材の
0:55:48	今日、強度ですね木材の強度、すなわち緩衝性の今強度というのが、
0:55:53	値Ⅱと相関があると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:58	60度とか100度とか、使用温度ですね。
0:56:03	それが60年間ちょうど、
0:56:07	温度として貯蔵された場合に、
0:56:10	強度が何割低下するっていうような文献がありました。
0:56:16	それはあくまでも一つ1例の文献でしかないので、
0:56:21	今木材の
0:56:25	性能低下の予測は文献だけでは、
0:56:28	だから予測は困難ですねというふうな位置付け。
0:56:32	位置付けになってまして、先ほど申した通り、40から70度っていう、低い温度で使うっていうのが、認識になってますんでちょっとその文献を使って、
0:56:44	遠藤使用期間の関係性を、
0:56:50	定式化するのは、
0:56:52	ちょっと避けたいなと思ってます。
0:56:56	ちょっとそれ以外に今、
0:56:58	試験はないということで、
0:57:00	金属の場合は
0:57:03	問題ないっていう。
0:57:05	使い続けて問題がないということ。
0:57:08	を前提にしてますんで、そういうぎりぎりな使い方っていうところ、まだ記載する必要があるかな。
0:57:15	と思ってます。
0:57:17	そういった
0:57:19	できるものは、特になんかという
0:57:22	状況です。
0:57:24	以上です。
0:57:27	規制庁松野です。わかりました。
0:57:31	ちょっと長期健全性とは別にちょっと1点、パワポ資料でちょっと気になる点というか確認したい点があるんですけども、
0:57:40	この12ページ目で、
0:57:42	安全機能を担保する強度部材が健全性を可能な荷重の設定で、
0:57:50	この下の表の想定事象起因事象。
0:57:55	周辺施設とが、備考があって、
0:57:59	ここで、
0:58:02	書かれているその想定事象で起因事象。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:07	今回の型式指定は、
0:58:11	横置き of 緩衝体付き of キャップ、
0:58:15	もともと、
0:58:17	型式証明では、
0:58:19	二つのタイプがあったと思うんですけど縦置と。
0:58:23	今回のタイプと、
0:58:25	縦置き of の場合は基礎と固定で、緩衝体がないので、
0:58:31	ただ、キャスク of の本体は、今回の横置き of のキャスクと全く同じなんですよ。
0:58:37	ここで間書かれている、その想定事象と起因事象で、
0:58:47	竜巻 of の場合はこう書かれてあってもそもそもおんなじ。
0:58:52	型式証明を受けている縦置きでは、
0:58:56	そもそも、
0:58:57	ここで書かれてる内容は、
0:59:00	緩衝体がなくとも、別にキャスク本体で、
0:59:03	守るから、
0:59:05	多分大丈夫だっていう説明なんですけど。
0:59:09	でもここで書かれてある横尾木野。
0:59:11	緩衝体付き of の想定事象では竜巻が書かれてあって、
0:59:16	ここう。
0:59:18	今その申請書本文 of の、
0:59:21	飛来物 of の条件に包絡されないものは、
0:59:25	緩衝体で守りなさいって何か説明で読めてしまうんですけども、
0:59:32	でも基礎と固定 of の緩衝体なし of のキャスクでは別に、こういうことは別に想定事象としては多分考えてることはないと思うんですけど、
0:59:43	何か、同じ型式証明で証明を受けている縦置という工期との、
0:59:52	関係で、
0:59:53	横置き of の緩衝体付きで想定される事象が、
0:59:59	ここを書くことによって今の縦置き of のキャスクとの、
1:00:04	何かいろいろそごが生じてしまうのではないかと。
1:00:08	思うんですけども、その点いかがでしょうか。
1:00:15	ミツイサイトウです。
1:00:17	この 12 ページ of の表ってのはさて町横木をちょっとこう分けて書いたというよりかは真横キー
1:00:25	しかも、対象にしかしなかったの、立ち上げ of の方はちょっと、
1:00:30	比較別だとか、同じ、同じですとかっていうことは書いてませんでした。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:38	特段、熊木なんていうのはここに挙げなくてもまあいいかなとは思ったんですが、
1:00:46	高得点キャップにぶつかるものとしてキャスター食う
1:00:50	かなり突起物みたいな形で当たるのは、竜巻キーが多いのかなあということで、
1:00:56	そういう事例としては竜巻があって、
1:01:00	今現在竜巻の方で説明する内容を超えてくるようなものっていうのは、ちょっと想定事象という形はないんですが竜巻の方に入るんですけども、
1:01:11	それはそういう場合、総代が必要であれば緩衝体、この評価に包絡されるかどうかっていうので、判断できるような使い方ができるのかなあというので、
1:01:21	記載さしてもらったという形ですので、
1:01:27	縦置きの場合に、この
1:01:31	江藤大発表の設計飛来物ズーを超えるようなものがあれば当然それはそれで、
1:01:37	評価しないといけなくなる、なりますんで、同じ。
1:01:43	発表に包絡されるかどうかっていうのは、伊達久野 6 も一緒でして、
1:01:49	それを包絡されないようなものがぶつかる。
1:01:53	この場合は、
1:01:55	別途、緩衝体をモデル化せずに、同じような評価をするというやり方もありますし、
1:02:00	拡大がついてるから問題ないんですよっていう。
1:02:04	に、
1:02:06	その後任まで持ってくる。
1:02:08	ことも考えられるのかなあ。
1:02:10	そうなるのであれば、
1:02:14	評価に包絡されるかどうかっていう見方もあるのかなあということで、入れさせていただいたものでして、
1:02:22	これで、
1:02:24	これ、これが何ですかね、後任の方で、
1:02:29	判断になるものではなくて、一つの例として、記載をさしてもらったものでして、
1:02:37	これで判断をスタートするというものではない。
1:02:41	ほんで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:43	はい、以上です。
1:02:49	規制庁のトガサキです私もですね小中竜巻の例っていうのが、ちょっと何かイメージがつかなくてもともと、
1:02:58	8 ページ 8 ページの
1:03:02	想定事情としては、
1:03:04	右下にある、
1:03:08	上から屋根が起こってくるとか、
1:03:13	横壁が
1:03:16	キャスクの横にぶつかるかっていう、
1:03:18	そういう疑似症なんですけどそんなその事象の原因って何かなんていうのが考えたときに、地震で屋根が落ちるとか、
1:03:27	地震で壁だの倒れるとかっていうのは何か想像つくんですけど、竜巻で屋根が落ちるとか、竜巻でこういう横壁が飛んでくるとかですね。
1:03:40	そういうことを何か考えてるのかなと思ったんですけど、でも、
1:03:44	そうすると全体全体的に、あれですよ。
1:03:50	コールがかかる指標評価ですよ。
1:03:53	でも、今回 12 ページで説明されているのは、
1:03:59	ちょっと違って局所的なあかんIIですよ。
1:04:04	これがなんかそうすると一なんかその 12 ページ。
1:04:09	12 ページ開けてスズキ 8 ページのこの図と合わないなと思ったんですよ。
1:04:14	この 8 ページのこの図の、
1:04:17	ンググループの想定ですね想定が右の方の贈呈が具体的に何なのかっていうのが、多分 12 ページに書かれる話だと思うんですけど、その中で竜巻っていうのが本当に何か、
1:04:30	あれですよ、何か具体的な想定事情があるのかっていうことなんですけど。
1:04:37	どうですかこれ。
1:04:43	ミツイサイトウです。
1:04:46	はい。ちょっとイメージ、おっしゃる通りイメージ。
1:04:50	なかなか直結しないんだろうなとは思いました。
1:04:53	バケツの方とちょっと立つ町井からちょっと向こうかなとは思います。
1:04:59	またその 2 を入れてルーのがですねまたその機能をいろいろ、
1:05:05	ちっちゃいものもあれば大きいものもあるということで、
1:05:10	かなり大きいような、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:12	物が飛んでくるってということになれば、それがキーとなって、
1:05:18	施設の屋根なり壁なりがそのまま、
1:05:24	落ちてくるっていうところに繋がるのかな。
1:05:27	ということで、貫通して、
1:05:30	終わりじゃないのっていう考え方にもなるかもしれませんが、そういう場合もあるのかなと思って書いたんですが、
1:05:38	ちょっとこの竜巻がちょっと、
1:05:41	誤解を招きやすいかなと思いましたので、この資料からは、
1:05:45	いきたいと思います。
1:05:47	規制庁のトガサキですけど 12 ページの備考にあるように竜巻に対してはもう過剰体なしで、そのキャスク単体で、
1:05:58	全体破壊も供給極社会も、
1:06:02	耐えられるんですよね。
1:06:05	ただ、だから、何その緩衝体が出てくるのかなというのがちょっとわかんなかったんですけど。
1:06:16	三菱齊藤です。
1:06:19	二つ目については何が飛んできてても良いってわけではなくて、申請書のほうで書いている、五つの飛来物。
1:06:27	竜巻概要の
1:06:30	図。
1:06:31	その範囲内であればOKですよ。
1:06:34	それを上回るようなものが、
1:06:36	竜巻で来るのであれば、
1:06:38	それはまた別途ですよっていう。
1:06:41	ことなので、
1:06:43	そこは何でもOKではない。
1:06:46	ということです。
1:06:48	そして、
1:06:50	出すのであれば大丈夫。
1:06:52	規制庁のトガサキですけど施設側の立つ竜巻の評価等、キャスク側の評価で、飛来物とか条件を変えているんですか。
1:07:06	だから基本的に
1:07:09	何ですかいった施設側の方も、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:13	同じ飛来物で降雨すると思うんですけど、さらに自施設側では、建屋があるから内側には飛んでこないとかですね、そういう評価になると思うんですけど。
1:07:25	ここの、
1:07:26	キャスクの方をその日想定した飛来物以上のものが、施設側で飛んでくるって想定っていうのがあるかどうかなんですけど。
1:07:37	例えばタツモここのに書いてある竜巻で、
1:07:42	何か壁を壊してしまっていて壁ほど、キャスクに当たるとかですね。
1:07:49	だそそういうのがあるんだったらなんか、キャスクは、
1:07:54	そこまでの飛来物は想定してませんよとか、ここまでの飛来物しか考えてませんよとかっていうのを引き継がないといけないと思うんですけど。
1:08:04	そりゃそう、そういう何か施設側の方が条件が厳しい。
1:08:08	ということありえますかね。
1:08:15	三菱の齋藤です。
1:08:17	それは施設のう。
1:08:21	施設側で判断するものなんですけども、
1:08:25	ちょうど施設通も、
1:08:29	近くにですね、竜巻で浮遊して、
1:08:34	飛来物となり得るものが、
1:08:36	その竜巻のストーリーの中であるのであれば、飛んできてことに、
1:08:42	なってますね設計飛来物として見ないといけなくなるんですよ。
1:08:46	それを回避するような運用をとるのか、やっても大丈夫って説明をするのかは、
1:08:53	事業者さんによります。
1:08:56	基本的にはこのガイドの飛来物の範囲はあるんだろうと思っはいるんですが、
1:09:04	ではないかなと。
1:09:06	規制庁のところは集まって、
1:09:10	はい。
1:09:11	はい。もしそうそうであったとしても、
1:09:14	そのキャスク単体だからキャスク単体ではこの飛来物に対してはもちますって設計を、
1:09:21	してそれを事業者に引き継ぐと思うんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:25	何ももしだからそれ以上の飛来物があったときに、緩衝体で守りなさい って言うふうに言う必要があるんですかだから、別にそういう平井地域の 特性で、
1:09:38	大きい飛来物があったときに、建屋の壁で守りますつったら、別に緩衝 体で守る必要はないんですけど、
1:09:47	緩衝体でなかなかこのキャスク単体ではこの飛来物までは大丈夫なん ですけどそれを超えるような場合は、緩衝体で守りなさいって言うことを 今回、
1:09:58	言う必要があるかどうかなんですけど。
1:10:01	そういうことで想定されるんですか。
1:11:27	すいませんー応確か伊方だったかと思うんですけど伊方の方は竜巻に 対して確か建屋で守っててもしその建屋の
1:11:36	屋根だとかが、斜破損し壊れちゃって、キャスクに
1:11:42	ぶつかったとしても、安全機能が守られるような設計もめちゃくちゃ強い ですよって言う。
1:11:48	設計方針はなっているんですね。ですよ。
1:11:53	ていうですよって言う。
1:11:59	です。はい。ミツイサイトウです。はい。その認識です。
1:12:28	これは宇津今野なんかキャス伊方の場合は緩衝体がなくてもキャスク
1:12:36	建てでキャーキャーすくうの上に屋根が竜巻だけにね、屋根が落っこつ てきてもキャスクはもちますという、
1:12:44	そういう評価だと思うんですけど
1:12:47	横の場合はその間に緩衝体を入れる必要があるんだつたら、それはち ゃんと、このキャスクキャスク単体では、この竜巻 2 の条件しか持たな いんですけど、
1:13:00	それ以上の所の竜巻の、
1:13:04	条件があつたら、それは、
1:13:06	もう、
1:13:07	何ですか、緩衝体で耐えられるようにしてくださいって言うのを引き継が ないといけないと思うんですけど、そういう必要性ってあるんですか。
1:13:24	三菱電機、
1:13:28	どうぞ専門、はい。
1:13:31	今野トガサキさんのご質問に対してですけれども、
1:13:36	まずですねおつきいちょうど、
1:13:40	ていう場合ってのはですね

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:42	2 番。
1:13:43	イソタニ固定しないっていうのは地盤の耐震
1:13:48	に対する考え方いろいろないようなところにオクないものになりますんで、
1:13:54	そういったところに置く場合っていうのは、金建屋っていうのは、
1:13:57	耐震性を有するものにしないっていうふうに、
1:14:00	することが考えられますので、
1:14:04	建屋で、あとは飛来物をカバーするっていう、
1:14:07	設計にならないのかなと。
1:14:11	しております。
1:14:12	逆に等、
1:14:16	型式能率の飛来物を超えるような、
1:14:19	設計飛来物が来た場合はキャスクで対応する必要が出てくるのか。
1:14:23	その時に緩衝体で守るのか、経産省じゃなくてもいいのかっていうのは、ちょっと限定はする必要はないと思いますけれども、
1:14:31	会社で守らないといけないような、
1:14:34	あれが出た場合にですね。
1:14:35	今回の評価 2、2 合致するような条件だったら、安全性は大丈夫っていうふうに、
1:14:43	つなげたはいいのかなと思って今、
1:14:47	想定はしてはしておりますが、それに限定するものではなくて、別にカジタじゃないんでなくても、
1:14:57	何かなくても大丈夫って言うてもいい。
1:15:00	可能かと思えますんで、
1:15:02	そういう認識でございます。
1:15:05	成長のところ、磯なんか今のでだんだん分わかってきたんですけど、そもそもあれですね自身が、だから地盤に固定しないから、
1:15:15	だから建屋自体が、耐震性が高くないものがある可能性があるんで、地震で建屋の屋根とか壁が壊れたときに、
1:15:27	それを家状態で受ける必要があるということで、
1:15:32	だそそういうその時の、
1:15:35	荷重の条件というのは、事業者にちゃんと引き継ぎますと施設側に、
1:15:40	上から後、起こってきたり横から、壁が飛んできたりとかしたときに、キャスクが持つように、
1:15:51	その荷重の条件を設定する必要があるんで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:56	竜巻についても、その建屋が阿蘇そんなに強いものじゃない可能性があるんで、
1:16:02	その竜巻によって、天井が落ちたりとか、
1:16:05	横壁が飛んできたりとか、あとちょっとそれよりは小さいかもしれないけど、キャスクの単体で想定している飛来物よりも大きいものが竜巻によって、
1:16:18	キャスクにぶつかる可能性があるんで、それも緩衝体で、ちゃんと吸収できるようにしてください。
1:16:26	そうそういうために地震だけじゃなくて竜巻も入れてるっていうふうに理解したんですけど。
1:16:33	相模松波網ですねそそういうふうに理解して、
1:16:38	いいですかだからもう、
1:16:41	地盤に設置する場合はもう建物が強固だからそこまで考えなくてもいいんだけど、
1:16:46	その地盤にここで固定しないから、何か建物の脆弱性とかも考慮して、地震とか、竜巻とか、
1:16:54	そういう外部事象に対する、
1:16:57	そういう想定も入れておきますっていう。
1:17:02	それをちゃんとそれを吸収できるような緩衝体をつけてくださいっていうのを引き継ぎたいっていう。
1:17:08	そそういう理解でよろしいですかね。
1:17:14	セイキの作業です。はい。ありがとうございます。今野トガサキさん。
1:17:19	解釈の通りです。
1:17:22	以上です。
1:17:30	和賀三菱の中菅、考えとしては、私は理解はできたんですけど、
1:17:38	でもこれが一般的な考え方かどうかってのはちょっとわからない。根井。
1:17:44	ちょっとあれですね。
1:17:47	そういうもんなんですかねっていうだから横置きで、地盤に固定しないものの、
1:17:53	供用状態でいいの想定っていうのは、
1:17:56	今、三菱が説明されているような 1012 ページの、
1:18:01	なんないよっていうのは、
1:18:04	三菱の考えは理解できたんですけど、これは何か一般的かどうかってのはわかりますか。
1:18:16	三菱の齋藤です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:18	その自然現象と一緒にするような考え方ってところが許認可上どうかってところについては私どももなかなか判断しかねるところなんですけども、
1:18:29	安くの評価をするという、
1:18:33	ことにあたってはですね結局のところそのままが当たって荷重が発生して、
1:18:38	見やすくの境界条件を設定して登録を計算して、
1:18:44	その結果 6 の逆共同住宅の供用状態 2、
1:18:49	の基準に入るかどうかというのを評価することになるので、確か評価する上では、結局そこ落とし込んでいけば同じになると思うんですよね。
1:18:59	ですので
1:19:01	最初にできたところは同じになるので、それはできるんじゃないかなと思っています。
1:19:08	あとその協議過剰の扱いというところがちょっと、
1:19:13	何か一般的なものかどうかというのはちょっと、
1:19:16	わかりません。
1:19:18	以上です。
1:19:21	規制庁マツノですよ。
1:19:23	あれ、キャスク構造規格の供用状態Dっていうのは、
1:19:29	そのDに相当する設計事象の湯用の中に、
1:19:34	竜巻の事象って入ってるんですか。
1:19:41	土肥サイトウです。
1:19:43	金属キャスク構造規格に竜巻とか津波とかっていうのは明記はされていないんですが、衝撃荷重っていうのは、旧状態で扱えることになってますんで、
1:19:54	ですので、
1:19:57	地震、
1:19:58	新町形津波竜巻の評価は、衝撃荷重が入りますんで、
1:20:04	今回、基準規則適合性で説明した内容というのは、その短期化、長期荷重が入るので、供用状態 2 のその供用中から入る場合として評価をしてますんで、
1:20:18	収益管理が入るという点では同じかと。
1:20:23	竜巻が入るんでは津波も入るんですか。
1:20:29	鶴田イトウです。
1:20:31	はい津波の場合も通る。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:36	調達管理ってのは正直、
1:20:39	崎田さんのお話。
1:22:39	あれ、規制庁マツノです。先ほどの説明国内横置緩衝体つきなしの
1:22:48	大野瀬で、
1:22:50	今貯蔵してるところって、
1:22:53	1府でしたっけ。
1:22:56	ありTFじゃないな。
1:22:59	いやそうです。です。
1:23:06	でしょ。
1:23:20	あれ。
1:23:21	もう一度確認ですけども、
1:23:25	この間、貯蔵用緩衝体は、
1:23:32	キャスクの移動時も、緩衝体付けての移動も考慮した緩衝体。
1:23:39	ていう。
1:23:41	イメージ。
1:23:44	想定事象の中に入ってますか。
1:23:49	ミツイサイトウです。
1:23:53	現在、申請書の中では厨房状態におけるっていうふうにしてますんで、
1:24:00	その状態での想定でしょう。
1:24:03	そして、作り上げて、
1:24:06	そういうふうにしてますけれども、
1:24:10	商業施設に運ぶまでに、この緩衝体を付けて輸送することも可能ですので、
1:24:15	そちらの方が可能性として
1:24:18	大きいかなと思ってまして。
1:24:21	入行される場合の、
1:24:24	学科とかですね、そこはちょっとこの申請書上はちょうど中の話ですので、書いてありませんが、
1:24:32	そういうふうな、
1:24:35	場合にですね、その場合に連絡するとかいうときに、
1:24:39	もう事象というのは、
1:24:43	使用ができ、評価結果では使用ができる。
1:24:47	と思ってます。
1:24:49	以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:50	今の補足説明資料でその想定高さに 2.5 メーターでしたっけ、その高さで考慮しても、
1:24:59	それで評価されてましたよね。
1:25:06	はい、三井佐藤です。衛藤。
1:25:09	資料 1-2 の別紙 4 に記載している評価例はその高さから落下させたものでございまして、
1:25:17	その高さっていうのは、そういう
1:25:20	輸送中の高さも、
1:25:23	もう包絡するような、
1:25:25	ものでございます。
1:25:58	これ、すいませんだんだんわかんなくなってきましたけど、今の横尾木野、長同様緩衝体を、
1:26:06	つける意味って何でした。
1:26:09	何かそもそも論。
1:26:12	それで今何かこう 1Fとかでもつけないやつもあるってのは、
1:26:19	麻生加古域以外は固定してるって今回仮定しないからちょっと。
1:26:25	建屋とかでずれたときに隣のキャスクとぶつかっちゃうからってことです。
1:26:31	でもそれでも何回も。
1:26:33	構内輸送とかのためとか何とかもありますよね。
1:26:37	そこら辺、
1:26:39	どうでした。
1:26:40	確認ですけど、すいません。
1:26:46	三菱の齋藤です。
1:26:50	課長待遇は国内で運ぶとき、どうのこうのっていうものではなくてちょうど宇宙、
1:26:57	合計長すると、2 番がこの不安定な状態ですので、そうなってくるとちょうど建屋自体が大変そういう差ないところになってくるので、
1:27:08	このキャスクの安全機能を、
1:27:11	自分自身で守るために観察をつけるという、
1:27:14	考え方です。
1:27:16	そういうふうに、
1:27:19	設置すると。
1:27:22	それでいい。
1:27:23	設置すると、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:25	ちょうど規則の緩衝材を成長するというものに合致してくるので、
1:27:31	それに従って審査を受けている。
1:27:35	輸送中の話はその緩衝体っていうのは、
1:27:40	構内で輸送するときに
1:27:42	つけて、その
1:27:44	想定される基礎中に想定される事象、
1:27:47	にですね、おいても、その緩衝性能が発揮できれば、電気の
1:27:54	されますっていう説明にも、
1:27:57	使うことができますので、
1:27:59	別にそれは、
1:28:01	他の緩衝体でもいろいろ緩衝体でも構わないんですけども、
1:28:07	その間相対でそのまま運んできて、
1:28:09	その状態でおろして貯蔵を始めるっていう、
1:28:13	流れ。
1:28:15	に
1:28:16	ということです。
1:28:18	以上です。
1:28:20	すいませんカワハラですけども、三菱カワハラですけども補足させていただきますと、
1:28:25	先行してるキャスク貯蔵先行させていただいてる、
1:28:30	東電さんの1Fと原電さんの東海第2がキャスク貯蔵すでにされてますけれども、
1:28:37	この二つのサイトでは、構内長構内輸送の場合は緩衝体をつけない、裸のキャスクの状態で輸送されています。以上です。
1:28:54	規制庁のトガサキですけど型式指定でわあ、その間主幹招待貯蔵用緩衝体の
1:29:04	あれですね
1:29:06	シーイーシーさんの対象には直接はなっていないんですけど、それをその事業者での引き継ぎ上条件としては、
1:29:16	申請書にちゃんと書いてもらう必要があると思いますので、その時に、先ほどの荷重をちゃんと引き継ぐっていう観点で、その荷重がかかる条件、
1:29:29	っていうのはどんなものがあるのかっていう説明は、
1:29:35	補足説明ということではしていただきたいと思ってまして、その中で今までの説明だと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:42	まずさっきの 9 ページとか
1:29:44	12 ページの、
1:29:47	そういう状態っていうのが条件というのが供用状態Dとして考えられますということなので、
1:29:54	その考え方はですね、それを今
1:29:59	三菱が考えてることでいいので、
1:30:05	今言ったように例えばその水平落下というのは、
1:30:08	その貯蔵状態で、どういう状態でこういう状態になるっていうことが考えられるのかですね。
1:30:15	阿藤多分ここに書いてあるその 12 ページに書いてあるようなものなんだと思うんですけどその地震の場合とか、竜巻の場合はこういう荷重がかかる可能性があるっていうですね。
1:30:27	そういう、そういうのは、
1:30:31	三菱の今の考え方で結構だと思いますので、まとめてもらいたいと思いますけど、いかがですか。
1:30:43	フジイサイトウです。
1:30:45	了解しました補足説明資料の方に、等をちょっと、
1:30:50	この辺記載ないんですけども、
1:30:52	記載させていただきます。
1:30:54	以上です。
1:31:07	すいません規制庁のトガサキでこの
1:31:11	荷重の条件を、10 ページの辺りで明確にさせていただいたと思うんですけど、
1:31:19	1 点だけ
1:31:21	塾方向の下の図の範囲なんですけど、これ前のバージョンではその前に応力かかるという、
1:31:31	図だったんですけど、これを限定してるんですけどこの部分というのは、構造的に、
1:31:38	この部分が先に荷重がかかるようにだんだんなってるんです。ですからその全面的に、
1:31:43	応力がかからないでこの
1:31:46	分は、リング部りん外周のリング部 2、先に荷重がかかる構造になってるのかっていうのを教えてもらいたいんですけど。
1:31:58	三菱齊藤です。
1:32:03	パワーポイントのですねもう 10 ページとかですね、11 ページを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:07	見ながら見ていただければと思いますけども、
1:32:19	この
1:32:20	すみません、16 ページちょっと見ていただいていいですかね。
1:32:26	16 ページのですね下に、
1:32:28	キャスクの蓋部の拡大を入れております。左したの。
1:32:34	フェーズがですね 30 日と
1:32:38	形状がわかると思うんですが表現、
1:32:42	はですね平らになってまして、
1:32:48	上載範囲の部分が先に当たるというものでは、
1:32:52	ないです。
1:32:56	あとは菅翔太飯野構造との関係性になってくるんですけれども、
1:33:01	会社の構造はですね 11 ページ。
1:33:05	2 回提要ですね。
1:33:07	イソダの緩衝体やればかなり
1:33:12	全然大きな形にするんですが、我々想定してルウでしようというものを考えた場合ですね、この程度のものかなというふうに、
1:33:22	判断をしています。
1:33:23	基本この軸方向、キャスクの事故にしようとするときに、
1:33:29	2 回をできるような大きさ、
1:33:32	じゃあどこにつけるのかっていうことなんですけれども、
1:33:37	我々のキャス食うの場合ですね
1:33:40	会社が個つぶれたときにキャスクの方がしっかり受ける部分が、
1:33:44	につけるべきなんです、そのしっかり受ける部分なんて 5 な部分がどこかというところの、
1:33:51	そんなボルトは、こういうような部分が本になっていると、それ三次蓋をつけている動のプランですね、ここがしっかりされて、しっかりあるから、
1:34:01	ということになります。三次元中央に行けば行くほど、
1:34:07	出ているものがなくなってしまうというか、
1:34:10	30%の時から二次蓋があるんですが、そことの間には隙間がありますので、仏向な形に干渉ではつける。
1:34:20	そうすると緩衝材が変形した数というのは、フランジの部分に入っていく。
1:34:25	こうなりますので、
1:34:27	この風条件にしてございます。以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:32	規制庁のトガサキです。かあれですか、緩衝体の構造自体が、こういうあれですか外周部にしか、
1:34:41	接しないような構造になるんですか。
1:34:44	と全面的にキャスクに登録わかんないようなキャスクの形になってるんですか。緩衝体の形になるんですか。
1:34:59	はい。
1:35:01	主体自体は全体を、
1:35:03	休みがばつと広範な公共な形になりますけれども、
1:35:08	その場所が部分的に
1:35:12	出る場合ってのはこのような形で端っこの方、
1:35:16	つけることをメインに考えてますので、
1:35:18	そこの形に、
1:35:20	今なってるというところでそれを反映して
1:35:24	今の範囲にかけていると。
1:35:27	ことになります。実際に前年比、
1:35:31	可能性が、
1:35:32	他にないのかと言われるとそれはちょっと、
1:35:34	ない場合も考えられますけれども、
1:35:37	その場合はかなり広い範囲になってくるので、
1:35:40	会社としては緩和されている方向になると考えてます。
1:35:44	以上です。はい、わかりました。計算上は、解析上はこの青い範囲で、荷重を計算してて、
1:35:54	供用値に対して満足できるという評価を終えて、
1:35:58	実際に付けるときは青い範囲よりも広い範囲で、緩衝体を設置させればいいという、そういう理解でよろしいですか。
1:36:12	三菱の齋藤です。はい。その通りです。
1:36:15	はい、わかりました。
1:36:30	すいませんちょっと補足説明資料で、
1:36:33	ちょっと青字でちょっと追加になってるページがちょっと他にあったんですけど、
1:36:41	ちょっとまず
1:36:43	追加理由がちょっとわかんなくて、
1:36:46	ちょっと、
1:36:49	別紙3という、
1:36:52	91 ページ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:54	92 ページなんですけど、
1:36:57	金、この、これは今回追加してるんですか。
1:37:01	傾斜落下と水平学科の衝撃加速度比についてっていう別添 3 です。
1:37:11	西野サイトウです。
1:37:12	はい。ちょっと小令和ですねちょっと今回追加させていただきました。
1:37:18	弊社落下、斜めに落下するときに、キャスクが健全、
1:37:25	それでも健全ですよっていうご説明をイワサしていただいたんですが、その
1:37:30	評価の中で、使用している。
1:37:34	数字の根拠をちょっとつけさせていただいた形で、
1:37:39	今回追加をいたします。
1:37:41	質問んところの部分に基づくものかそういう。
1:37:46	そうですね。
1:37:54	右下 78 ページ。
1:37:58	2、これは別紙の別添 2。
1:38:03	ですが、
1:38:05	これ弊社落下の時にですねた分、多分変形量を、
1:38:11	実機大の落下試験モデルと比較する。
1:38:14	いうことをご説明させていただいたと思うんですがその時にこの別紙 2 の 14 票。
1:38:20	の加速度MSF24PS型の傾斜落下時の加速度なんですけど、これ水平なんかの、
1:38:28	に比べて、この 1.6 倍っていうのを使ってまして、1.6 倍。
1:38:33	根拠は含めておくべきかなと思ひまして、それを記載させていただいたのが追加部分でございます。
1:38:44	以上です。
1:38:52	すいませんちょっとこれは、
1:38:54	あれですか何かコメントに対して、根拠を追加されたんですか。
1:39:00	それとも、
1:39:02	三菱の判断でつけられたということですか。
1:39:08	西野サイトウです。これは規制庁さんからのご指摘ではなくて、我々の、すいません我々の判断で追加の方させていただきます。
1:39:17	わかりました。
1:39:26	規制庁松野です。
1:39:28	Q今日の説明資料の質問は、こちらからは以上となります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:36	何か全体通じてそちらから確認したい点がありましたらお願いします。
1:39:48	三菱斎藤です。
1:39:49	衛藤。
1:39:51	エンジンではございません。以上です。
1:39:54	はい、ではこれでヒアリングは終了します。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。